

標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会 情報交換会 (2016. 12. 22) 議事録

1. 日 時 2016年11月22日 (火) 10:00~11:15
2. 場 所 5東洋海事ビル A+B 会議室
3. 出席者 (敬称略)
 - (出席委員) 萩原 (部会長), 石川, 伊藤 (肇), 伊藤 (博), 北島, 坂本, 佐々木, 佐田, 三本木, 松本, 宮坂 (11名)
 - (代理委員) 田中正暁 (日本原子力研究開発機構/田中) (1名)
 - (欠席委員) 岡本, 越塚, 堺, 西田, 宿谷, 宮坂, 山口, 吉田 (8名)
 - (欠席常時参加者) 工藤 (1名)
 - (説明者) 【放射線遮蔽分科会】坂本主査, 【風洞実験実施基準分科会】伊藤幹事, 沼田常時参加者, 【専門部会】萩原 (部会長) (4名)
 - (事務局) 井関, 谷井 (2名)

4. 配付資料

- 情報交換会 (2016. 11. 22)-0
 - 議事次第
- 情報交換会 (2016. 11. 22)-1
 - 前回議事録 (案)
- 情報交換会 (2016. 11. 22)-2-1
 - 人事について
- 情報交換会 (2016. 11. 22)-2-2
 - ATC33-2-1 人事についての訂正
- 情報交換会 (2016. 11. 22)-3
 - 「放射線遮へい計算のための線量換算係数:2010」改定要否検討結果の基盤応用・廃炉技術専門部会決議投票結果の標準委員会での報告結果
- 情報交換会 (2016. 11. 22)-4
 - 発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準の改定
- 情報交換会 (2016. 11. 22)-4 別紙 1
 - 風洞実験実施基準 改定前後比較表
- 情報交換会 (2016. 11. 22)-5
 - 第 66 回標準委員会決定に基づく用語辞典の見直しについて (依頼) に対する報告結果
- 情報交換会 (2016. 11. 22)-6
 - 分科会の活動状況について

参考資料

- 情報交換会 (2016. 11. 22)-参考 1
 - 基盤・応用技術専門部会委員名簿
- 情報交換会 (2016. 11. 22)-参考 2
 - 標準委員会の活動状況

5. 議事内容

事務局から開始時点で委員20名中、12名の出席のため、専門部会成立に必要な委員数（14名以上）を満足せず専門部会は不成立となったことが報告された。専門部会が不成立となったため、今回は情報交換会となった。

(1) 前回議事録（案）の確認（情報交換会（2016.11.22）-1）

事前に配付されていた前回議事録（案）について追加した内容で確認された。

(2) 人事について（情報交換会（2016.11.22）-2-1，情報交換会（2016.11.22）-2-2）

事務局から情報交換会（2016.11.22）-2-1，情報交換会（2016.11.22）-2-2に基づき、以下の報告があり確認され、廃止措置分科会の炭谷 誠（東芝）委員選任の承認についてメールで審議を行うこととなった。

分科会

① 委員退任の確認

【廃止措置分科会】

篠田 敏彦（東芝）

② 配布資料 ATC33-2-1 の訂正の確認

a 委員の退任の確認

訂正前

沼田 邦夫（日本原子力発電）（風洞実験実施基準分科会，有効高さシミュレーション 分科会代表者）

訂正後

沼田 邦夫（日本原子力発電）（風洞実験実施基準分科会，有効高さモデル分科会代表者）

b 委員の選任決議

訂正前

伊藤 博英（日本原子力発電）（風洞実験実施基準分科会，有効高さシミュレーション分科会代表者）

訂正後

伊藤 博英（日本原子力発電）（風洞実験実施基準分科会代表者）

(3) 【報告】“放射線遮へい計算のための線量換算係数:2010”改定要否検討結果の基盤応用・廃炉技術専門部会決議投票結果の標準委員会での報告結果について（情報交換会（2016.11.22）-3）

放射線遮蔽分科会の坂本主査から情報交換会（2016.11.22）-3に基づいて，“放射線遮へい計算のための線量換算係数:2010”改定要否検討結果の基盤応用・廃炉技術専門部会決議投票結果の標準委員会での報告結果について報告があった。標準委員会では改定不要の結論について同意は得られたが、今後の対応については積極性に欠けるとの委員長からコメントがあった。そこで、放射線審議会等での線量換算係数の審議と平行して、放射線遮蔽分科会の場で放射線遮蔽計算に使用する線量換算係数に関する議論を進めることを明記した。萩原部会長から、標準委員会時の審議状況の補足説明があった他は、特段質疑はなかった。

(4) 【報告】発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準の改定について（情報交換会（2016.11.22）-4，情報交換会（2016.11.22）-4別紙1）

風洞実験実施基準分科会の伊藤幹事，沼田常時参加者から，情報交換会（2016.11.22）-4，情報交換会（2016.11.22）-4別紙1に基づいて，“発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準”の改定について報告があった。

主な質疑等を次にしめす。

- ・ No 19. の図等で縦軸横軸のスケールが前後で変わっているが、拡大する等で見やすくする意図はあるのであればその旨を補足に記載すること。
- ・ No 19. でUをuに変更しているが、意味があるのであればその旨記載すること。
- ・ 数値モデル実施基準を削除したとのことだが、同基準を参照することは必要は無い。
- ・ No 25. の参考文献でメーカー報告書に記載しているが、一般人がアクセス可能な資料なのか。→国会図書館に寄贈しているので、一般人が閲覧可能である。また、電中研報告は、MHI や IHI との引用と合わせており、また国会図書館で検索できる記載である。
- ・ No. 7の①～③は、ルールとしてはa～cである。
- ・ 全体的に、() が半角になっている。
- ・ 参考文献はイタリック体がルール。
- ・ No 41, 42で(以下PWRという)との記載にしたほうがよい。また、全体的に読み替えの整合を図ったほうがよい。
- ・ No 74で、Measuresはコードと思われるが、参考文献の引用をしたほうがよい。

(5) 【報告】標準委員会標準活動基本戦略タスクの活動状況などについて（情報交換会(2016.11.22)-5)

基盤応用・廃炉技術専門部会の萩原部会長から情報交換会(2016.11.22)-5に基づいて、標準委員会標準活動基本戦略タスクの活動状況などについて報告があった。

主な質疑等を次にしめす。

標準委員会標準活動基本戦略タスクの活動に関わる作業結果の保管方法に関して検討が必要ではないか。

(6) その他

- (1) 次回第34回基盤応用・廃炉技術専門部会は、2月27日(月)13:30から開催することになった。
以上